

お手植え・お手播き樹種等（案）について

1 概要

有識者による「植樹・木材利用専門委員会」を設置し、委員の協議により候補樹種を選定した。

2 選定経過

(1) 植樹・木材利用専門委員会委員

役職	所 属	役 職	氏 名
委員長	国立大学法人高知大学教育研究部	講師	松本 美香
委員	公益社団法人高知県森と緑の会	専務理事	塚本 愛子
	公益財団法人高知県牧野記念財団	栽培技術課長	濱口 宗弘
	高知県森林組合連合会	参事	山下 秀亀
	一般社団法人高知県木材協会	専務理事	松岡 良昭
	高知県種苗緑化協同組合	事業部長	岡村 勝也
	高知県素材生産業協同組合連合会	専務理事	福吉 修二
	林野庁四国森林管理局森林整備部技術普及課	課長	大崎 景悟
	高知県林業振興・環境部木材産業推進課	課長	高橋 宏明
	高知県林業振興・環境部森林技術センター	所長	大黒 学

(2) 専門委員会の開催

第1回植樹・木材利用専門委員会

開催日：令和7年9月18日（木）

内 容：お手植え、お手播き、招待者植樹・緑化行事の樹種（素案）について 等

第2回植樹・木材利用専門委員会

開催日：令和7年12月25日（木）

内 容：お手植え、お手播き、招待者植樹・緑化行事の樹種（案）について 等

(3) 選定の考え方

【基本構想 第4章 植樹行事 1 基本的な考え方】

- (1) 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種を選定します。
- (2) 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものをを使用することを基本に検討します。

【基本構想 第4章 植樹行事 2 お手植え、お手播き】

- (1) 天皇皇后両陛下に、お手植え、お手播きを賜ります。その樹種については、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種で、県民の皆さまに親しみのあるものを選定します。

(4) 選定結果

ア お手植え、お手播き樹種

- ・お手植え樹種：6種（天皇陛下：3種、皇后陛下：3種）
- ・お手播き樹種：4種（天皇陛下：2種、皇后陛下：2種）

区分	天皇陛下	皇后陛下
お手植え	スギ（魚梁瀬（やなせ）杉）	ヒノキ（少花粉）
	クヌギ	ヤマモモ
	ウバメガシ	ミツマタ
お手播き	ヒノキ（少花粉）	スギ（少花粉）
	ビロードムラサキ	トサミズキ


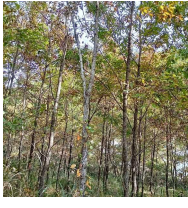

イ 招待者植樹・緑化行事樹種

樹種数	樹種名
24	アコウ、アラカシ、イロハモミジ、ウバメガシ、エゴノキ、エノキ、キシツツジ、クスノキ、クヌギ、ケヤキ、コナラ、サカキ、シキミ、シャリンバイ、スギ、スタジイ、トサミズキ、トベラ、ヒノキ、ビロードムラサキ、ミツマタ、ヤブツバキ、ヤマザクラ、ヤマモモ

- (※) 緑化行事…参加者が苗木を用いて県内各地域への緑の広がりを象徴的に表現するプログラムを実施予定。

3 お手植え樹種

【天皇陛下】

樹種名		選定理由
スギ (魚梁瀬 (やなせ) 杉)		<p>○高知県の県木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸郡馬路村魚梁瀬地区で生産されていた地域品種。 ・きめ細かい木目や品質の良さから県内外で評価・活用されてきた。 ・第29回大会(昭和53年)で昭和天皇がお手播きされた。
クヌギ		<p>○県内の里山林を構成する代表的な樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古くから薪炭材として植栽されている。 ・落ち葉や木の実が生物多様性の保全に寄与し、森林の公益的機能の充実に貢献している。 ・しいたけ等の原木として県の特用林産業を支える。
ウバメガシ		<p>○高知県が生産量日本一である備長炭の原料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭の中で特に高品質な備長炭の原料。 ・高知県産のウバメガシから作られた土佐備長炭は高密度で締まりが良く、日本三大備長炭の一つに数えられる。 ・潮風に強いいため、高知県内の海岸線沿に広く自生する。

【皇后陛下】

樹種名		選定理由
ヒノキ (少花粉)		<p>○高知県の林業における主要樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の人工林のおよそ6割を占める。 ・高知県産のヒノキは、「土佐ヒノキ」等と呼ばれ、材の芯の鮮やかな赤みと強い香り、高い耐久性が特徴。 ・花粉量が少ない少花粉品種の苗木をお手植えいただく。
ヤマモモ		<p>○高知県の県花</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県の海岸線沿に広く自生する。 ・春先に花弁のない小さな花が咲き、梅雨どきに暗紅色で甘酸っぱく美味しい実がなる。 ・第29回大会(昭和53年)で昭和天皇によりお手植えされた。
ミツマタ		<p>○土佐和紙の原材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の三大和紙と呼ばれる土佐和紙の原材料の一つ。 ・黄色の美しい花を咲かせ、観賞用としても親しまれる。 ・古くから高知県の山間部で広く生産されており、現在も大豊町やいの町、仁淀川町、梶原町等の一部地域で栽培されている。

4 お手播き樹種

【天皇陛下】

樹種名		選定理由
ヒノキ (少花粉)		<p>○高知県の林業における主要樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の人工林のおよそ6割を占める。 ・高知県産のヒノキは、「土佐ヒノキ」等と呼ばれ、材の芯の鮮やかな赤みと強い香り、高い耐久性が特徴。 ・花粉量が少ない少花粉品種の苗木をお手植えいただく。
ビロード ムラサキ	 <p>高知県立牧野植物園提供</p>	<p>○牧野富太郎博士命名の「土佐の誇り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内では一般的に見られるが、国内では絶滅危惧Ⅱ類に認定。 ・初夏に薄紫色の花を咲かせ、葉裏には星状毛が密生し触感がビロードのようであることが名の由来。 ・牧野富太郎博士が命名し、新種として発表。著書では「土佐の誇り」と記している。 ・学名に「高知」が含まれる唯一の種 学名：Callicarpa kochiana

【皇后陛下】

樹種名		選定理由
スギ (少花粉)		<p>○高知県の林業における主要樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒノキに次いで県内の人工林面積を占める。 ・第29回大会（昭和53年）で昭和天皇によりお手植えされた。 ・花粉量が少ない少花粉品種の種をお手播きいただく。
トサミズキ	 <p>高知県立牧野植物園提供</p>	<p>○名前に「トサ」を冠する高知県の固有種・高知市の花</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蛇紋岩地に分布し、春先に小さな黄色の花が咲く。 ・県内では多く見られるが、国内では準絶滅危惧種に指定。 ・第29回大会（昭和53年）で昭和天皇によりお手播きされた。